

令和 5 年
10 月 30 日 (月)



盛岡市地域福祉ワークショップだより【河北 2 版】〔米内・山岸・緑が丘・松園〕

NEWS LETTER

発行
地方創生いわて
事業協同組合
(委託元)
盛岡市地域福祉課

10/24(火) 第 5 回河北圏域で開催

盛岡市では、10/24(火)に盛岡市中央公民館において、第 5 回目となる「地域福祉ワークショップ」を開催しました。

このワークショップは、令和 7 年度を始期とする「第 3 期盛岡市地域福祉計画」の策定にあたり、今年度、市内各地区のみなさんから、「人と人とがつながり、共に支え合うまちづくり」を大きなテーマに、各地区での現在の取組と、将来への希望などのご意見をうかがうために開催しており、日常生活圏域に基づき 7 つに分けて行います。

第 5 回は、河北圏域のうち、米内・山岸・緑が丘・松園圏域を対象として実施し、4 グループに分かれて、参加者 17 名が意見交換を行いました。

【当日のタイムスケジュール】

18:30	■ 開会 ・市地域福祉課長より挨拶がありました。 ・続いて、地域福祉課福祉企画係長より趣旨説明がありました。 ・本日の進め方（グループごとの話し合い）について説明のあと、グループごとの話し合いが始まりました。
18:45	■ グループごとの話し合い 各グループには、参加者の話し合いのサポートをする進行役が 1 名入りました。進行役には、大学生 4 名が参加しました。 ・グループごとに自己紹介 ・地域の交流、顔の見える関係づくり、安心して暮らせる地域づくりのために、 ①今、地域で取り組んでいること ②これから取り組みたいこと などについて話し合いました。
20:00	■ グループ発表 各グループで話し合ったことを発表し、参加者全員で確認しました。また、話し合った内容のまとめを行いました。  ▲発表風景
20:30	■ 挨拶・閉会 本日の全ての話し合いを終えて、市地域福祉課長より挨拶がありました。 また、事務連絡の後、アンケートへ記入いただき、閉会となりました。



▲グループワークの様子



▲たくさんの方の意見で埋まった模造紙

交通利便性の向上と施設等を活用した場づくり

河北（米内・山岸・緑が丘・松園）圏域のワークショップで話し合われた内容の一部をお伝えします。

現状と課題

町内会の活動

- ・子ども会・PTA・自治会による夏まつりの開催（再開）。
- ・新年会、運動会、敬老会（敬老の集い）。
- ・親睦交流のためのスポーツ行事の実施。
- ・お茶会、各種サロンの開催。
- ・道路の草刈り、公園の除草、清掃活動の実施。
- ・町内ボランティアによる雪かき活動の実践。
- ・町内会情報紙の発行。

文化活動

- ・地域におけるクラブ活動（カラオケ・マージャン）。
- ・芸術祭、文化祭などの開催。
- ・読書会、絵本の会の開催、子育て親子の交流。

世代間の交流

- ・子ども会用の畑での農作業交流の実施。
- ・クリスマス会、ひな祭り、もちつき大会等、子ども達との交流。
- ・子どもたちの登下校の守り。
- ・全世代によるお花見会の開催。

課題

- ・地区全体の高齢化が進んでいることから、U I ターン、定住対策が必要である。
- ・若い人が外へ出て行くため、働く場が必要である。
- ・雪かき、高齢者宅の家の周りの除雪対応が必要である。
- ・孤独死の防止、一人暮らし高齢者の見守りが課題である。
- ・高齢者同士の支え合いが必要となっている。
- ・隣近所の顔の見える関係づくりが求められている。
- ・交通利便性の向上、移動手段の整備が課題である。
- ・熊など獣害対策が課題となっている。
- ・空き家が増えており対策が必要である。

今後に向けて

交流の推進

- ・助け合いにつながる顔の見える関係づくり。
- ・認知症になっても安心して暮らせるまちづくり。
- ・老若男女が集まる場づくり。
- ・住民が交流する居場所づくり。
- ・サロン、近所で気軽に集まることの出来る集まりの開催。
- ・県立博物館を活用した、人の集まる場づくり。
- ・お茶を飲みつつ地域の課題を話し合う機会づくり。
- ・大学生や高校生による高齢者向けパソコン教室の開催。
- ・町内会役員の若返り。

交通利便性の向上

- ・小～中型バスによるきめ細かい公共交通網の整備。
- ・各種バス活用、マッチングによる移動手段の確保。
- ・生協バスの充実、コミュニティバスの運行。
- ・郊外型でんでんむし号の運行。

若者の定住対策

- ・若い人の職場の確保、働く場づくり。
- ・若い人が移住してくるような環境づくり。
- ・豊かな自然などまちの良さを PR し、外からの移住を促す。

見守りや防災対応、除雪支援など

- ・一人暮らし高齢者の見守り。
- ・一人暮らしの人も集まることの出来るサロンなど機会づくり。
- ・家のまわりなどを対象としたきめの細やかな除雪対応。
- ・熊の対応、獣害対策の取り組み。
- ・災害対応の体制づくり、避難場所の確保、災害時の備えの充実。
- ・個別世帯を対象としたゴミ収集の仕組みづくり。

アンケート結果より 参加した方々からの感想を紹介します。

- ・松園地区として共通の課題があることがわかった。
- ・少子高齢化でも、皆が交流でき、つながりの持てる優しい地域をと思っています。
- ・地域の交流は、回覧板グループ（町内会の班）が基本だと思う。それがうまくいけば、全体の交流が良くなるだろう。
- ・色々な行事を開催しているが、参加者が固定化しているので、これを解決する良いアイデアがあれば、教えてほしい。
- ・次期計画策定に期待します。さらに、公と民がうまく手を取って、次へ進むように！

進行役からひとこと！印象に残ったこと

- ・世代間交流が乏しいという問題を知った。近所同士のつながりも減り、高齢者の安否も心配である。つながりを増やすために、行事を増やす、あいさつをするなどの施策も必要と感じた。
- ・みなさん住む町（町内会）は違っても、同じ松園地区なので、ニュータウンならではの課題（＝一気に高齢化）に共通する部分が非常に多くあった。
- ・団地ならではの悩みが、目立った。世代内・世代間・地域の外との交流など、人は多いのでそのことを生かせないだろうか。
- ・参加者が、大人の方だったので、若い人たちとの関わりを強きたいという意見が印象に残った。